



堀岡 敏喜 議員

国の支援を受けて学校施設の充実を

問

スクールニューディール構想【1】に伴う学校施設の充実等について尋ねる。

① ICT（情報通信技術）環境整備②校舎の耐震化③エコ改修―を柱に約1兆2、000億円が予算化された。市町村は国の支援等を受け、次の質問項目等の整備を行うことができる。

(1) 太陽光発電パネル設置
(2) 校内LAN【2】や電子黒板、デジタルテレビ等の設置状況は。

校内のコンピューター等がケーブルで接続された状態のこと。各教室でインターネットができる。

(3) 校舎の耐震化は、22年度内の100%達成に変更はないか。

太陽光発電を新設校で計画

耐震工事中の栄南小体育館



答 教育課長

(1) 耐震補強後の校舎は新たな加重が生じる関係で、現在のところ考えていない。しかし、現在基本設計を進める(仮称)第2校小学校【2】は、設置の方向で検討している。21年に、太陽光と小型

風力発電を合わせたハイブリッドソーラーシステム街灯一基の設置を考えている。

校小学校マンモス化対策となる新校で、旧弥富中学校跡地(平島町地内)での建設を目指している。

(2) 校内LANは20年度末、弥富中学校のみで、電子黒板、デジタルテレビは現在未整備である。

答 市長
(3) 21年度に前倒して進めており、その通り進捗する。

ローコストで校庭の芝生化を

問

鳥取方式【3】による学校校庭の芝生化への取り組みを聞く【関連記事7面】。

繁殖力の高いバミューダグラスを使用し、短期間で安価に芝生化できる手法。鳥取市のNPOが考案した。

経済面を考慮し課題としたい

答 教育課長

校庭はかなりの面積になる。管理、経済面を考慮し、今後の検討課題としたい。

メディアリテラシー教育推進を

問

メディアリテラシー教育【1】について、市で何が取り組んでいるか。

新聞、テレビ等、各種情報メディアを読み解き、活用する能力。インターネットや携帯電話等、未成年の段階からその利活用、トラブルを防ぐ教育の必要性が高まっている。

安全な携帯電話使用法を学習

答 教育部次長

中学校で携帯安全教室を開催し、情報モラル教育を計画的に推進している。なりすまし、ネット上に潜む危険、著作権等、情報識別能力の向上に向け授業づくりを進めている。